

科目名		テーマ		
韓国語Ⅱ		韓国語で読む、書く、聞く、話す。		
担当者名	配当年次	単位数	学科	選択・必修 / 指定科目
山田 紀 浩	2	2	経済情報学科	選択必修

[授業の内容・到達目標]

韓国語Ⅰを受講し韓国語の基礎を学習した学生が、韓国語の表現がより豊かにすることを目的とした講座である。最初は1年次で学習した内容の復習をするが、その後基礎文法から初級文法（動詞の活用等）そして連体形へと進み、やや長い文章の読み書きに慣れるようにする。また簡単な会話力の向上にも努めたい。その他に語彙力のアップにも力を入れるが、そのため単語学習とその小テストは毎時間行うこととする（韓国語と日本語は語順が同じであるため、初級のレベルで語彙力があれば韓国語の実力が面白いように上がるということを実感してもらいたいためである）。

また、語学を通して韓国の文化にも触れることになるが、特に敬語の使い方の学習時間を増やす。韓国社会の文化的な一面であるが韓国では上下関係が非常にはっきりしている。そのため間違った敬語の使い方は失礼になる。丁寧語と敬語の使い方などを通して日本との違いや、韓国社会についても触れることも授業に取り入れる。

この授業の到達目標は、特に陽母音、陰母音の使い分けによる表現方法を学ぶことである。この使い分けは、より流暢な韓国語表現をするためにも大切であるが、今後の韓国語文法を理解する上で必須である。

[授業方法]

教科書にそった授業を行うために教科書が必ず持参すること。

韓国語に触れる目的でビデオや歌を鑑賞することもある。

事前学習として、教科書の次の章に出てくる単語は暗記してくること。単語テストを行なうこともある。

[成績評価の方法]

①授業への参加態度	10%
②課題レポート	30%
③期末試験成績	60%

[テキスト]

オムジョンミ「アンニョンハングンマル」(朝日出版社)

[参考文献]

長谷川由起子「コミュニケーション韓国語」(白帝社)

油谷幸利・南相璵「総合韓国語1」(白帝社)

油谷幸利・南相璵「総合韓国語2」(白帝社)

[履修上の注意・その他]

ノートは必ず執ること。

[授 業 計 画]

実 施 回	内 容
1	ガイダンス 数字の使い方の復習
2	名詞文の復習
3	動詞・形容詞文の復習
4	～を好む。～が好きだ。
5	動詞・形容詞の否定形
6	動詞・形容詞の過去形
7	可能表現・不可能表現
8	希望表現（～たい）・転成表現（～なりたい）
9	만나서 반갑습니다
10	連用形の練習
11	어디서 한국말을 배웠어요?
12	尊敬補助語幹 시
13	助詞の尊敬形について
14	韓国の文字文化（歴史と現在）
15	総まとめ
16	春学期学習の総復習
17	일본어를 배우고 있어요
18	敬語表現について
19	動詞・存在詞の連体形
20	저널리스트가 되고 싶어요
21	動詞の過去連体形と形容詞・指定詞の現在連体形
22	希望と拒否の表現
23	尊敬の交替形、存在詞の敬語
24	文末形から原形に戻す練習。辞書の引き方
25	가족이 어떻게 되세요?
26	過去の敬語表現、体言の敬語形
27	이것이 가족 사진입니다
28	接続語尾 고 (이)시고 について
29	韓国の現在について
30	総まとめ